

令和 6 年度事業報告

令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における一般社団法人全国治水砂防協会の事業の概要を、次のとおり報告します。

記

令和 6 年 5 月 23 日開催の第 88 回通常総会において理事会議決事項として報告された令和 6 年度事業計画及び収支予算書等に準拠して、以下の事業を実施した。

I. 砂防事業の拡充・促進についての活動

1. 「全国治水砂防促進大会」の開催

令和 6 年 11 月 14 日、会員等約 1,600 名が、シェーンバッハ・サボー（利根）に参集し、多数の国会議員等の来賓を迎え、全国治水砂防促進大会を開催した。

大会に先立ち、京都大学防災研究所の中北英一教授より「災害環境における気候変動影響予測と適応に向けて」と題する特別講演が行われた。

大会では、国土交通省の草野愼一砂防部長より「『いのち』と『くらし』と『みどり』を守る砂防」と題する講演が行われた後、会員を代表して、石川県輪島市の坂口 茂市長より「令和 6 年能登半島地震及び令和 6 年奥能登豪雨 輪島市における被害の概要及び対応状況について」、新潟県糸魚川市の米田 徹市長より「糸魚川ユネスコ世界ジオパークにおける治水砂防事業」と題して砂防関係事業の必要性等を訴える意見発表が行われた。これらを踏まえ、池田三男副会長から砂防関係事業の促進に関する大会提言の説明がなされ、満場一致で採択された。

大会終了後、提言の実現に向けて、政府並びに国会関係に対し、力強く要望活動を行った。

「提言内容」

(1) 土砂災害防止施設の強力な整備推進

土砂災害から人命を守り、安心して住める地域にするため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の確実な目標達成に向け、物価や人件費の高騰による影響も踏まえ、令和六年度補正予算について、例年を大幅に上回る規模で編成するとともに、令和七年度当初予算においても予算の増額を図ること。併せて、必要な事業規模と期間を盛り込んだ国土強靱化実施中期計画をできる限り早急に策定し、継続的・安定的な予算を確保すること。

(2) 令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策の推進（地域を支える砂防事業の推進）

地域の社会・経済活動を支える基本的な交通インフラ及び上下水道等ライフラインの保全等を通じて、国民の「いのち」と「くらし」を守るための砂防事業を推進すること。併せて、地すべり発生個所での国の支援を継続させる特定緊急地すべり対策事業を新たに創設すること。また、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模広域災害時に備え、地震時における土砂災害リスクを評価する手法の研究推進に努めること。さらに、土砂災害対策の生産性・安全性を向上させるDXの取り組みを推進すること。

(3) 気候変動による土砂災害の激甚化に対抗する流域治水『砂防』の推進

土砂・洪水氾濫や流木を伴う激甚な土砂災害が頻発していることに鑑み、河川事業との連携はもとより、防災まちづくりを考慮した移転支援等を含む土砂災害対策や林野部局と連携した流木対策等を実施し、流域治水『砂防』を推進すること。特に、土砂・洪水氾濫対策を強力に推進するため、危険流域の抽出調査を速やかに実施するとともに、流木対策を含む計画の策定を進めること。

(4) 既存施設の老朽化対策と緊急除石等による機能の強化

インフラ長寿命化計画に基づき、既存施設の計画的な維持管理、修繕及

び、改築を推進すること。併せて、流木対策施設の設置や砂防堰堤に堆積した土砂の除石、特に土石流を捕捉した場合に緊急除石による早期の砂防施設の機能回復を図り、施設効果が最大限に発揮される取り組みを進めること。さらに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、砂防堰堤を活用した小水力発電や緑を活用した土砂災害対策等に取り組むこと。

(5) 警戒避難体制の強化

地域の防災力の向上を図るため、高精度な地形情報を活用した土砂災害警戒区域等の抽出や土砂災害警戒情報の精度向上や、災害時の避難につながる地域の取り組みを支援すること。併せて、火山噴火や大規模災害時等に迅速な対応が行えるよう、デジタル技術等の新技術の開発活用を進めること。

(6) 組織・人員の強化

砂防事業の推進および適切な施設等管理に必要とされる人員・体制の確保を図ること。併せて、デジタル技術を活用した TEC-FORCE 等による災害発生時の円滑な自治体支援のため、地方整備局や研究機関において、必要な人員・体制の強化を図ること。また、地域の安全・安心のアドバイザーとして欠かせない存在である砂防分野の大学の研究者が継続して確保されるよう関係機関への働きかけなどの取り組みを進めること。さらに、災害対応の担い手である地域建設業の育成並びに人員確保等の取り組みの充実を図ること。

Ⅱ．事業活動

1．調査研究

(1) 砂防に関する調査研究及び助成

名古屋大学、京都大学及び土岐市への助成を行った。

(2) 砂防の人材育成に関する懇談会

砂防分野の人材の確保・育成の取り組みについて、国土交通省や各大学

と情報を共有するとともに、今後の連携とより効果的な取り組みに向けて意見交換を行った。

2. 国際協力に関する活動

- (1) (一社)国際砂防協会への活動支援
- (2) 台湾との砂防共同研究への支援
- (3) ブラジルとの砂防技術交流への支援
- (4) 国際防災学会インタープリメントへの協力と環太平洋インタープリメント協議会の運営支援を行った。
- (5) 国際砂防ネットワークの運営支援

土砂災害防止に携わる各国の行政機関や技術者に対し、土砂災害の実態や土砂災害防止対策に関する情報交換を行うための国際砂防ネットワークの運営を支援した。

3. 各種委員会等における活動

大学、国土交通省、内閣府、地方行政機関、砂防学会及び砂防関係団体等から、非常勤講師や理事あるいは委員等の委嘱を受け、学識経験者として砂防に関する調査研究や施策の立案に参画する等の活動を行った。

4. 広報・啓発

- (1) 土砂災害防止月間（6月）

土砂災害の防止および軽減に関しての国民の関心と理解を深めるため国土交通省が実施する「土砂災害防止月間」の全国的な諸行事に対し、その活動への参加、支援を行った。

- (2) 雪崩防災週間（12月1日～7日）

雪崩災害に対する国民の理解と関心を深めるため、週間の諸行事に対し、その活動への支援を行った。

- (3) 2024火山砂防フォーラム

火山砂防フォーラムが令和6年10月24日～25日に長崎県島原市で開催され、その活動への支援を行った。

(4) 赤木記念館及び「砂防の父赤木正雄展示館」

赤木記念館の整備を図るとともに、赤木正雄博士の業績に関する資料を展示し、広く一般の人々に砂防の重要性を理解してもらう活動を行っている「(一社) 砂防の父赤木正雄展示館」への支援を行った。

(5) 砂防現地視察と討論会

令和6年10月31日～11月1日、長野県茅野市及び岡谷市において「第10回砂防現地視察と討論会」を行った。

(6) 講演活動

市町村等の行政機関、大学、砂防ボランティア及び日本防災士機構からの要請を受け、土砂災害防止に関する講演活動を数多く行った。

5. 講習会・研修会等の開催

(1) 土砂災害対策実務者講習会

令和6年8月2日、シェーンバッハ・サボー（利根）において「第11回土砂災害対策実務者講習会」を開催し、232名が受講した。

(2) 砂防および地すべり防止講習会

令和7年2月13日～14日、シェーンバッハ・サボー（利根）において「第65回砂防および地すべり防止講習会」を開催し、246名が受講した。

6. 情報提供

(1) SABO NEWS LETTER の提供

国土交通省砂防部の協力を得て、砂防関係の諸情報や砂防協会からのお知らせを会員などに迅速に伝えるとともに、会員からの意見、情報を収集するため、「SABO NEWS LETTER」を電子メールにより会員などへ配信した。

(2) ホームページ等の提供

当協会の沿革、事業内容、出版等の諸情報をはじめ砂防に関するニュース等をホームページ(<https://www.sabo.or.jp/>)やX(旧Twitter)(https://twitter.com/sabo_JSA)により広く提供した。

7. 機関誌の発行と砂防関係図書の出版

- (1) 当協会の機関誌「砂防と治水」を年6回（第278号～第283号）発行し、会員をはじめ砂防関係各機関、大学等に広く配布及び頒布し、情報提供を行った。
- (2) 次の図書を刊行し、砂防関係行政の実務者、学術研究者等に広く頒布及び配布し、学術・技術の向上に寄与した。
 - 1) 第11回土砂災害対策実務者講習会テキスト
 - 2) 第65回砂防および地すべり防止講義集
 - 3) 砂防白書（令和5年度版）

8. 砂防図書館の運営

砂防に関する図書及び諸資料を収集・整理し、砂防関係者等の閲覧に供し、砂防行政及び調査研究の発展に寄与するため、砂防会館内に設置されている砂防図書館（当協会、（公社）砂防学会、（一財）砂防・地すべり技術センター、（一財）砂防フロンティア整備推進機構、（一社）斜面防災対策技術協会の5団体共同事業）を共同運営した。

9. 学会等の関係団体への参加・支援等

（公社）砂防学会のシンポジウム等関係団体行事への参加、支援等を行った。

10. 能登半島地震被災地への災害見舞金の拠出

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴う土砂災害により甚大な被害を受けた、石川県珠洲市、能登町、輪島市、穴水町、志賀町及び七尾市を訪れ、災害見舞金を贈った。

11. 表彰

(1) 功労者表彰

当協会の表彰規程に基づく功労者表彰（第39回）の受賞者が表彰審査委員会において決定され、令和6年5月23日開催の第88回通常総会において森山会長から次の6名の方々に授与された。（敬称略・五十音順）

岩 井 均 群馬県治水砂防協会会長
(安中市長)

太 田 好 紀 前紀伊山系砂防事業促進期成同盟会会長
(前五條市長)

川 野 幸 男 前(一社)全国治水砂防協会理事
(前津久見市長)

下 川 正 剛 前長野県治水砂防協会副会長
(前白馬村長)

鈴 木 和 夫 福島県砂防協会理事
(白河市長)

浜 中 啓 一 前東京都治水砂防協会会長
(前青梅市長)

(2) 感謝状の贈呈

当協会の役員として、永年にわたり協会の運営などに多大な貢献をされた次の方に感謝状が贈呈された。

小 林 則 幸 (一社)全国治水砂防協会理事
(前出雲崎町長)

(3) 赤木賞表彰

当協会の赤木正雄顕彰規程に基づき、砂防技術及び砂防事業の発展に功績のあった各氏に、令和7年2月13日開催の砂防および地すべり防止講習会に先立ち、赤木各賞を贈り顕彰を行った。(敬称略)

1) 赤木賞

地 頭 蘭 隆 (鹿児島大学名誉教授)

2) 赤木顕功賞

渡 邊 正 幸 (元建設省土木研究所砂防部長)

宮 澤 佐 敏 (元山梨県県土整備部砂防課長)

長 榮 作 (元北海道建設部砂防災害課長)

青 木 隆 典 (元愛知県建設部砂防課長)
加 納 章 (元静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課長)
古 川 正 幸 (元北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所長)
東 川 敏 (元北陸地方整備局阿賀野川河川事務所長)
松 本 英 好 (元石川県土木部砂防課長)

3) 赤木功績賞

田 中 堯 (元京都府宇治土木事務所長)
佐 藤 知 章 (元長野県土尻川砂防事務所長)
笹 岡 利 通 (元高知県高知土木事務所技査)
三 井 宏 人 (元長野県飯田建設事務所長)
瀬 戸 俊 彦 (元関東地方整備局日光砂防工事事務所副所長)
山 口 豊 (元関東地方整備局日光砂防事務所工務課長)
木 戸 徹 (元兵庫県養父土木事務所長)
寺 田 好 孝 (元青森県西北地域県民局地域整備部河川砂防施設課長)

4) 赤木功労賞

糸 川 ア イ (元関東地方整備局日光砂防事務所総務課職員)

Ⅲ. 協会の運営事項

1. 会員に関する事項

令和6年度末における会員数は、次のとおりである。

正 会 員	{	市町村会員	1,406	(前年度末比	増	2)
		個人会員等	35	(前年度末比	増	1)(増2 減1)
賛助会員			42	(前年度末比	増減	0)
		合 計	1,483	(前年度末比	増	3)

2. 役員等の異動について(敬称略)

(1) 理事の異動

令和6年5月23日 辞任

小 林 則 幸

令和6年5月23日 再任

宮 下 一 郎

令和6年5月23日 新任

池 上 滝 一、藤 澤 泰 彦

(2) 監事の異動

令和6年5月23日 辞任

藤 澤 泰 彦

令和6年5月23日 新任

岩 井 均

(3) 評議員の異動

所 属	新	旧	就任(退任) 年 月 日
北 海 道	加 藤 龍 幸	佐 藤 芳 治	6 . 4 . 15
兵 庫 県 砂 防 ボランティア協会	高 谷 和 彦	林 任 輝	6 . 5 . 11
長 野 県 砂 防 ボランティア協会	松 本 久 志	—	6 . 5 . 23
(一財)砂防フロンテ ィア整備推進機構	今 井 一 之	亀 江 幸 二	6 . 6 . 25
山 形 県	鈴 木 浩 幸	高 橋 重 美	6 . 7 . 23
岐 阜 県	西 脇 康 世	—	6 . 7 . 24
大 阪 府	岡 田 正 文	上 森 一 成	6 . 10 . 24
愛 媛 府	高 橋 敏 明	玉 井 敏 久	6 . 11 . 28
山 口 県	前 田 晋太郎	國 井 益 雄	7 . 3 . 27

3. 会議の開催

(1) 総 会

第88回通常総会 令和6年5月23日 於：シェーンバツハ・サボー(利根)

第 1 号 議 案 令和5年度決算審議

第 2 号 議 案 役員等選任審議

第 1 号 報 告 令和 5 年度事業報告
第 2 号 報 告 令和 5 年度公益目的支出計画実施報告
第 3 号 報 告 令和 6 年度事業計画報告
第 4 号 報 告 令和 6 年度収支予算報告
功勞者表彰等

(2) 理事会

(第 1 回) 令和 6 年 5 月 9 日 於：別館 B 3 階 霧島会議室

議題：令和 5 年度事業報告について

代表理事職務執行状況報告

令和 5 年度決算（案）について

令和 5 年度公益目的支出計画実施報告について

令和 6 年度事業計画について

令和 6 年度収支予算（修正）について

役員等選任について

令和 6 年度通常総会（第 88 回）招集について

(第 2 回) 令和 7 年 2 月 20 日 於：別館 B 3 階 霧島会議室

報告：令和 6 年度事業報告及び決算見込み報告の件

代表理事職務執行状況報告の件

議題：令和 7 年度事業計画（案）審議の件

令和 7 年度収支予算（案）審議の件

令和 7 年度通常総会日程審議の件

新規会員入会の可否について審議の件

(3) 評議員会

令和 6 年 5 月 22 日 於：別館 B 3 階 六甲会議室

議題：令和 5 年度事業報告について

令和 5 年度決算について

令和 5 年度公益目的支出計画実施報告について

令和 6 年度事業計画について

令和6年度収支予算について

役員等選任について

その他

- (4) 理事・顧問会議 令和6年10月10日 於：「ホテルオークラ新潟」会議室
(新潟市)

議題：令和6年度事業・運営事項等について

地域の砂防の実情等について

砂防行政に関する最近の話題について

全国治水砂防促進大会提言（案）について

その他

- (5) 監事会 令和6年5月7日 於：別館A3階 霧島会議室

議題：令和6年度事業実施状況及び決算について

- (6) 参与会

(第1回) 令和6年5月22日 於：別館B3階 立山会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和6年11月13日 於：別館B3階 立山会議室

議題：本協会の運営について

その他

- (7) 代表参与会

(第1回) 令和6年5月22日 於：別館A2階 特別会議室

議題：砂防関係事業の推進方策について

その他

(第2回) 令和6年11月13日 於：別館A2階 特別会議室

議題：砂防関係事業の推進方策について

その他

- (8) 賛助会員情報連絡会議

(第1回) 令和6年5月22日 於：別館B3階 霧島会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和6年11月13日 於：別館B3階 霧島会議室

議題：本協会の運営について

その他

(9) 直轄砂防事務所長連絡会

(第1回) 令和6年5月22日 於：別館B3階 穂高会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和6年11月13日 於：別館B3階 立山会議室

議題：本協会の運営について

その他

(10) 全国支部事務局 令和7年2月12日 於：別館B3階 穂高会議室

員会議

議題：令和6年度の主要な事業報告等について

連絡事項について

4. 支部との連携

(1) 地区支部長会議等への参画及び協力

下記の地区支部長会議に本部から役員が出席し、支部関係者間との連携を深めるとともに、その活動への協力を行った。

各地区支部長会議

東北地区	令和6年7月11日～12日	(山形県山形市)
関東・甲地区	令和6年11月7日～8日	(栃木県日光市)
北陸・信越地区	令和6年10月7日～8日	(富山県氷見市)
東海地区	令和6年11月28日	(三重県桑名市)
近畿地区	令和6年10月29日	(滋賀県大津市)
中国地区	令和6年10月30日～31日	(鳥取県鳥取市)

四 国 地 区 令和 6 年10月29日 (高知県高知市)

九 州 地 区 令和 6 年10月22日～23日 (宮崎県宮崎市)

(2) 支部総会への参加

本部役員は、各地の支部総会に出席し、講演等を行うとともに、砂防事業の推進等について会員との情報及び意見交換を行った。

IV. 砂防会館の運営等について

砂防会館の運営状況

(1) 本館

貸室として提供し、適正な管理及び運営を行った。

(2) 別館

当協会が役員室、事務室、赤木記念館等に使用している部分を除き、貸室、貸会議室等として提供し、適切な管理・運営を行った。

また、地階駐車場については、貸室入居者及び会議室利用者等の利用に供し、効率的な運営を図った。